授業計画（シラバス）

科目名	構造・性能学	指導担当者名	青木将大、矢部航平
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に6年従事、自動車ディーラーにて整備業務に8年従事	実務経験：	有
開講時期	通期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義：○　演習：　実習：　実技：		
時間数	108時間 （1年：前期50.4時間、後期39.6時間　2年：前期18時間）	週時間数	5.4時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	三級自動車整備士（総合）		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　前期	1	ガソリンエンジン総論	内燃機関の概論・分類・作動方式・燃焼方式・バルブタイミング
	2	エンジン本体	ガソリンエンジンの概要・構造・機能
	3	潤滑装置	オイルの循環・構造・機能
	4	冷却装置	冷却装置の概要・構造・機能
	5	吸排気装置	ガソリンエンジンの吸排気装置の概要・構造・機能
	6	燃料装置	ガソリンエンジンの燃料装置の概要・構造・機能
	7	シャシ総論	原理と性能・構成・安全装置
	8	動力伝達装置	クラッチ・ミッション等の動力伝達装置の概要・構造・機能
	9	アクスル・サスペンション・ステアリング装置	スプリング・ショックアブソーバ・ステアリングの概要・構造・機能
	10	ホイール・タイヤ・ブレーキ装置	ホイール・タイヤ・ディスクブレーキ・ドラムブレーキの概要・構造・機能
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	構造・性能学	指導担当者名	青木将大、矢部航平
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年従事、 自動車ディーラーにて自動車整備業務に8年間従事	実務経験：	有
開講時期	通期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義：○　演習：　実習：	実技：	
時間数	108時間 （1年：前期50.4時間、後期39.6時間　2年：前期18時間）	週時間数	5.4時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	三級自動車整備士（総合）		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　後期	1	ジーゼルエンジン総論	内燃機関の概論・分類・作動方式・燃焼方式・バルブタイミング
	2	エンジン本体	ジーゼルエンジンの概要・構造・機能
	3	吸排気装置	ジーゼルエンジンの吸排気装置の概要・構造・機能
	4	燃料装置	ジーゼルエンジンの燃料装置の概要・構造・機能
	5	排出ガス浄化装置	排出ガス浄化装置の概要・構造・機能
	6	シャシ総論	原理と性能・構成・安全装置
	7	フレーム・ボディー	フレーム・ボディーの概要・構造・機能
	8	安全装置	安全装置の概要・構造・機能
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点

出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	力学・数学	指導担当者名	青木将大、矢部航平
実務経験		実務経験：	
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義：○　演習：　実習：		実技：
時間数	36時間 （1年：後期18時間　2年：後期18時間）	週時間数	1.8時間
学習到達目標	自動車整備士に必要な基礎的な計算が出来るようになる		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	三級自動車整備士（総合）		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　後期	1	基礎知識	単位・単位の変換
	2	基礎的な原理・法則	トルクと偶力、ばね定数
	3	基礎的な原理・法則	圧力、単位と熱膨張
	4	基礎的な原理・法則	平均速度、走行性能
	5	基礎的な原理・法則	ギヤ機構とベルト伝達機構
	6	基礎的な原理・法則	プラネタリ・ギヤ・ユニット
	7	電気の計算	オームの法則
	8	電気の計算	抵抗の求め方
	9	電気の計算	電圧の求め方
	10	電気の計算	電流の求め方
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	電気・電子理論	指導担当者名	青木将大、矢部航平
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に6年従事、自動車ディーラーにて整備業務に8年従事	実務経験：	有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義：○　演習：　実習：　実技：		
時間数	72時間 （1年：後期36時間　2年：前期36時間）	週時間数	3.6時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	三級自動車整備士（総合）		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　後期	1	電気・電子の概要	電気と磁気・電子
	2	電気・電子の概要	電気と磁気・電流の三作用
	3	電気・電子の概要	電気と磁気・電源と起電力
	4	電流の種類	直流と交流
	5	接続の種類	直列接続と並列接続
	6	基礎知識	電圧降下
	7	基礎知識	電力及び電力量
	8	電子制御装置	センサー・アクチュエータ・ECU
	9	電子制御装置	ガソリンエンジンの電子制御装置
	10	電子制御装置	ジーゼルエンジンの電子制御装置
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	材料学	指導担当者名	青木将大、矢部航平
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に6年従事、自動車ディーラーにて整備業務に8年従事	実務経験：	有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義：○　演習：　実習：　実技：		
時間数	36時間 （1年：前期18時間　2年：前期18時間）	週時間数	1.8時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	三級自動車整備士（総合）、基礎自動車工学		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　前期	1	自動車の機械要素	ボルトとナット、ワッシャ
	2	自動車の機械要素	スプリング
	3	自動車の機械要素	ベアリング
	4	自動車の機械要素	ギヤ、ベルト及びプーリ
	5	自動車の機械要素	チェーン及びスプロケット
	6	自動車の材料	鉄鋼
	7	自動車の材料	非鉄金属
	8	自動車の材料	焼結合金
	9	自動車の材料	合成樹脂
	10	自動車の材料	塗料
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点

出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	燃料・潤滑剤	指導担当者名	青木将大、矢部航平
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に6年従事、自動車ディーラーにて整備業務に8年従事	実務経験：	有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義：○　演習：　実習：　実技：		
時間数	18時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	三級自動車整備士（総合）		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	燃料	ガソリン
	2	燃料	軽油
	3	燃料	LPG、CNG
	4	燃料装置	ガソリンエンジンの燃料装置
	5	燃料装置	ジーゼルエンジンの燃料装置
	6	潤滑剤	潤滑の目的、種類
	7	潤滑剤	エンジンオイル
	8	潤滑剤	ギヤオイル
	9	潤滑剤	シャシグリース
	10	潤滑装置	潤滑装置の概要・構造・機能
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点

出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	エンジン又はモータ	指導担当者名	青木将大、矢部航平
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に6年従事、自動車ディーラーにて整備業務に8年従事	実務経験：	有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義：〇　演習：　実習：	実技：	
時間数	54時間 （1年：前期36時間　2年：前期18時間）	週時間数	3.6時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	三級自動車整備士（総合）		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画　前期	1	エンジン本体（ガソリン）	ガソリンエンジンの原理
	2	エンジン本体（ガソリン）	エンジン本体（シリンダヘッド、ブロック、ピストン等）の整備
	3	エンジン本体（ガソリン）	エンジン本体（コンロッド、クランクシャフト、ベアリング等）の整備
	4	エンジン本体（ガソリン）	フライホイール　リングギヤ
	5	エンジン本体（ガソリン）	バルブ機構
	6	エンジン本体（ジーゼル）	ジーゼルエンジンの原理
	7	エンジン本体（ジーゼル）	エンジン本体（シリンダヘッド、ブロック、ピストン等）の整備
	8	エンジン本体（ジーゼル）	エンジン本体（コンロッド、クランクシャフト、ベアリング等）の整備
	9	エンジン本体（ジーゼル）	バルブ機構
	10	モータ	モータの原理
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	シャシ	指導担当者名	青木将大、矢部航平
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に6年従事、自動車ディーラーにて整備業務に8年従事	実務経験：	有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義：○　演習：　実習：　実技：		
時間数	54時間 （1年：前期36時間　2年：前期18時間）	週時間数	3.6時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	三級自動車整備士（総合）		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画　前期	1	動力伝達装置	クラッチ　ミッション、トランスファの整備
	2	動力伝達装置	プロペラシャフト　ドライブシャフト　ユニバーサルジョイントの整備
	3	動力伝達装置	ファイナルギヤ及びディファレンシャルの整備
	4	動力伝達装置（二輪）	二輪自動車の駆動装置
	5	アクスル及びサスペンション	アクスル　サスペンションの整備
	6	ステアリング装置	ステアリング装置の整備
	7	ホイール及びタイヤ	タイヤ　ホイールの整備
	8	ホイール、アライメント	アライメントの整備
	9	ブレーキ装置	フート、ブレーキ　パーキング、ブレーキの整備
	10	フレーム及びボデー	フレーム　ボデーの修理
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	電装	指導担当者名	青木将大、矢部航平
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に6年従事、自動車ディーラーにて整備業務に8年従事	実務経験：	有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義：○　演習：　実習：	実技：	
時間数	54時間 （1年：前期36時間　2年：前期18時間）	週時間数	3.6時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	三級自動車整備士（総合）		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画　前期	1	バッテリ	バッテリの構造、機能
	2	始動装置	スタータの概要
	3	充電装置	励磁式オルタネータの構造
	4	充電装置（二輪自動車）	二輪のマグネット式オルタネータの構造
	5	点火装置	点火の基礎
	6	点火装置	イグニッションコイル　スパークプラグの構造、機能
	7	余熱装置	余熱装置の構造、機能
	8	灯火装置	灯火装置の機能、機能
	9	冷暖房装置	冷暖装置の機能、構造
	10	計器　ホーン　ワイパー	計器　ホーン　ワイパーの機能、構造
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	自動車整備法規	指導担当者名	青木将大、矢部航平
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に6年従事、自動車ディーラーにて整備業務に8年従事	実務経験：	有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義：○　演習：　実習：	実技：	
時間数	54時間(1年：後期27時間　2年：後期27時間)	週時間数	5.4時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	法令教本		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画　後期	1	道路運送車両の保安基準	自動車の構造、装置（原動機関係）
	2	道路運送車両の保安基準	自動車の構造、装置（シャシ関係）
	3	道路運送車両の保安基準	自動車の装置（公害防止関係）
	4	道路運送車両の保安基準	自動車の装置（車体関係）
	5	道路運送車両の保安基準	自動車の装置（灯火関係、運転操作）
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点

出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	エンジン又はモータ　点検、分解、組立、調整、検査	指導担当者名	青木将大、矢部航平
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に6年従事、自動車ディーラーにて整備業務に8年従事	実務経験：	有
開講時期	通期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義：　演習：　実習：○		実技：
時間数	306時間 （1年：前期102.6時間、後期104.4時間　2年：前期99時間）	週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	エンジン単体（ガソリン、ジーゼル）		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画　前期	1	ガソリンエンジン	ガソリンエンジン単体（4気筒）分解、名称確認
	2	ガソリンエンジン	ガソリンエンジン単体（4気筒）計測、組付け
	3	駆動用モータ	駆動用モータ単体の名称確認
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	エンジン又はモータ　点検、分解、組立、調整、検査	指導担当者名	青木将大、矢部航平
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に6年従事、自動車ディーラーにて整備業務に8年従事	実務経験：	有
開講時期	通期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義：　演習：　実習：○　実技：		
時間数	306時間 （1年：前期102.6時間、後期104.4時間　2年：前期99時間）	週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	エンジン単体（ガソリン、ジーゼル）		
授業外学習の方法	レポート内容の復習		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画　後期	1	特殊エンジン	ロータリーエンジン、水平対向エンジン単体の分解、名称確認
	2	特殊エンジン	ロータリーエンジン、水平対向エンジン単体の計測、組付け
	3	ジーゼルエンジン	ジーゼルエンジン単体（4気筒）分解、名称確認
	4	ジーゼルエンジン	ジーゼルエンジン単体（4気筒）計測、組付け
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	シャシ　点検、分解、組立、調整、検査	指導担当者名	青木将大、矢部航平
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に6年従事、自動車ディーラーにて整備業務に8年従事	実務経験：	有
開講時期	通期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義：　演習：　実習：○		実技：
時間数	306時間 （1年：前期102.6時間、後期95.4時間　2年：前期108時間）	週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	実習車両（四輪、二輪）		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画　前期	1	動力伝達装置	クラッチ、ミッションの脱着、分解、組立
	2	アクスル及びサスペンション	前後サスペンション、アクスルの脱着、分解、組立
	3	ステアリング装置	ステアリング装置の脱着、分解、組立
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	シャシ　点検、分解、組立、調整、検査	指導担当者名	青木将大、矢部航平
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に6年従事、自動車ディーラーにて整備業務に8年従事	実務経験：	有
開講時期	通期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義：　演習：　実習：○		実技：
時間数	306時間 （1年：前期102.6時間、後期95.4時間　2年：前期108時間）	週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	実習車両（四輪、二輪）		
授業外学習の方法	レポート内容の復習		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画　後期	1	ホール、アライメント	ホール、アライメントの測定、調整
	2	ブレーキ装置	ディスクブレーキ装置の脱着、分解、組立
	3	二輪自動車の駆動装置	二輪自動車の駆動装置の脱着、分解、組立
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	電装　点検、分解、組立、調整、検査	指導担当者名	青木将大、矢部航平
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に6年従事、自動車ディーラーにて整備業務に8年従事	実務経験：	有
開講時期	通期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義：　演習：　実習：○　実技：		
時間数	324時間 （1年：前期102.6時間、後期95.4時間　2年：前期108時間、後期18時間）	週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	実習車両　電装品単品		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画　前期	1	サーキットテスタ　基礎知識	サーキットテスタでの測定方法　低圧電気に関する基礎知識
	2	バッテリ	バッテリの点検、脱着
	3	点火装置	ディストリビュータの脱着、分解、組立、点検
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	電装　点検、分解、組立、調整、検査	指導担当者名	青木将大、矢部航平
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に6年従事、自動車ディーラーにて整備業務に8年従事	実務経験：	有
開講時期	通期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義：　演習：　実習：○		実技：
時間数	324時間 （1年：前期102.6時間、後期95.4時間　2年：前期108時間、後期18時間）	週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	実習車両　電装品単品		
授業外学習の方法	レポート内容の復習		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画　後期	1	始動装置	スターターモータの脱着、分解、組立、点検
	2	充電装置	オルタネータの脱着、分解、組立、点検
	3	予熱装置	グロープラグの脱着、分解、組立、点検
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	総合学習	指導担当者名	青木将大、矢部航平
実務経験		実務経験：	
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義：	演習：○	実習：	実技：
時間数	180時間（1年：前期48.6時間、後期41.4時間 2年：前期32.4時間、後期21.6時間　3年：前期12.6時間、後期23.4時間）	週時間数	5.4時間
学習到達目標	・Excelの基本操作が出来るようになる ・簡単な関数が組めるようになる ・グラフが作成できるようになる		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	Excel基礎学習、ノートパソコン		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画　前期	1	Excel基礎学習	起動　画面構成　入力設定
	2	Excel基礎学習	セルの選択　データ入力
	3	Excel基礎学習	セルの書式設定
	4	Excel基礎学習	行と列の編集
	5	Excel基礎学習	行と列の編集
	6	Excel基礎学習	ブックの保存　終了
	7	Excel基礎学習	関数とグラフ
	8	Excel基礎学習	関数とグラフ
	9	Excel基礎学習	データ抽出
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点

出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	総合学習	指導担当者名	松崎翔太　渡邉祥市
実務経験		実務経験：	
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義：	演習：○	実習：　実技：
時間数	180時間（1年：前期48.6時間、後期41.4時間 2年：前期32.4時間、後期21.6時間　3年：前期12.6時間、後期23.4時間）	週時間数	5.4時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	3級自動車整備士過去問題プリント　ビジネスマナーテキスト		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画　後期	1	社会人になるとは	心構え、求められる資質、職場での基本マナー
	2	基本動作、言葉遣い	姿勢、歩き方、表情、発声練習、敬語の基本、話し方、聞き方
	3	面接の目的	面接について考える
	4	自己分析、自己PR、志望動機作成	自己分析をし自己PR、志望動機の作成
	5	履歴書作成	履歴書の書き方と作成
	6	ガソリンエンジン	3級ガソリン過去問題プリントにて復習、まとめ
	7	ジーゼルエンジン	3級ジーゼル過去問題プリントにて復習、まとめ
	8	シャシ	3級シャシ過去問題プリントにて復習、まとめ
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点

出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	構造、性能学	指導担当者名	松崎翔太、渡邉祥市
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事	実務経験：	有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義：○	演習：	実習：	実技：
時間数	108時間 （1年：前期50.4時間、後期39.6時間　2年：前期18時間）	週時間数	1.8時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	二級自動車整備士（総合）		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画　前期	1	ガソリンエンジン総論	ガソリンエンジンの燃焼方式、バルブタイミング
	2	ジーゼルエンジン総論	ジーゼルエンジンの燃焼方式、バルブタイミング
	3	エンジンの性能	熱効率　諸損失
	4	エンジンの性能	体積効率と充填効率　空気過剰率
	5	ガソリンエンジンの燃焼	ガソリンエンジンの燃焼行程　ノッキング
	6	ジーゼルエンジンの燃焼	ジーゼルエンジンの燃焼行程　ジーゼルノック
	7	排気ガス	排気ガスの発生過程　大気汚染物質発生の相関関係
	8	排気ガス	排気ガス浄化の対応策
	9	シャシ総論	走行抵抗と駆動力
	10	シャシ総論	駆動力と走行性能
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	力学、数学	指導担当者名	松崎翔太、渡邉祥市
実務経験		実務経験：	
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義：○　演習：　実習：　実技：		
時間数	36時間 （1年：後期18時間　2年：後期18時間）	週時間数	1.8時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	二級自動車整備士（総合）		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画　後期	1	基礎的な原理、法則	荷重（テコの原理）、軸重、トルク、軸トルクの計算の計算
	2	基礎的な原理、法則	力のモーメント　荷重割合
	3	自動車の諸元	エンジン圧縮比
	4	自動車の諸元	エンジン回転速度と平均ピストンスピード
	5	自動車の諸元	変速比
	6	自動車の諸元	自動車に働く抵抗、駆動力
	7	自動車の諸元	登坂能力
	8	自動車の諸元	燃料消費率の計算
	9	電気の計算	電圧の求め方
	10	電気の計算	電力　電力量の求め方
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	電気、電子理論	指導担当者名	松崎翔太、渡邉祥市
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事	実務経験：	有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義：○　演習：　実習：　実技：		
時間数	72時間 （1年：後期36時間　2年：前期36時間）	週時間数	3.6時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	二級自動車整備士（総合）		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画　前期	1	半導体の基礎	概要
	2	半導体の基礎	半導体の種類と特質
	3	半導体の基礎	ダイオードの種類、特質
	4	半導体の基礎	トランジスタの種類
	5	半導体の基礎	トランジスタの回路、増幅作用
	6	半導体の基礎	論理回路の種類、特質
	7	半導体の基礎	サーミスタの回路、圧電素子
	8	半導体の基礎	論理回路の種類
	9	半導体の基礎	論理回路の特質
	10	半導体の基礎	サーミスタ、圧電素子
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	材料学	指導担当者名	松崎翔太、渡邉祥市
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事	実務経験：	有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義：○　演習：　実習：　実技：		
時間数	36時間 （1年：前期18時間　2年：前期18時間）	週時間数	1.8時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	二級自動車整備士（総合）　基礎自動車工学		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画　前期	1	燃料	ガソリンの基材　性質
	2	燃料	軽油の性質
	3	燃料	LPGの性状
	4	燃料	CNGの性状
	5	潤滑剤	摩擦力と潤滑
	6	潤滑剤	潤滑状態
	7	潤滑剤	エンジンオイル　ギヤオイル
	8	潤滑剤	グリース　シリコンオイル
	9	潤滑剤	ATF　CVTF
	10	潤滑剤	PSF
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点

出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	図面学	指導担当者名	松崎翔太、渡邉祥市
実務経験		実務経験：	
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義：○	演習：	実習：　実技：
時間数	18時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	二級自動車整備士（総合）		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画　前期	1	製図　図面　概要	製図の概要
	2	製図に用いる線	継続様式による種類　用法
	3	図形の表し方	主投影図　補助投影図　局部投影図　対称図形の省略
	4	寸法記入方法と寸法の制度	寸法記入の原則
	5	電気製図	電気用図記号
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点

出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	エンジン又はモータ	指導担当者名	松崎翔太、渡邉祥市
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事	実務経験：	有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義：○　演習：　実習：　実技：		
時間数	54時間 （1年：前期36時間　2年：前期18時間）	週時間数	7.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	二級自動車整備士（総合）		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画　前期	1	エンジン本体　補器類	エンジン及び補器類の構造、機能
	2	ハイブリッド自動車及び電気自動車	電気自動車等の仕組みと種類
	3	ハイブリッド自動車及び電気自動車	駆動モータ及びジェネレータ　バッテリ　コンバータ及びインバータ
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	シャシ	指導担当者名	松崎翔太、渡邉祥市
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事	実務経験：	有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義：○　演習：　実習：　実技：		
時間数	54時間 （1年：前期36時間　2年：前期18時間）	週時間数	1.8時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	二級自動車整備士（総合）		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画　前期	1	動力伝達装置	クラッチ　トランスミッション
	2	動力伝達装置	差動制限型ディファレンシャル　インタアクスルディファレンシャル
	3	動力伝達装置（二輪自動車）	二輪自動車の駆動装置
	4	アクスル及びサスペンション	サスペンション　エアスプリング型サスペンション
	5	ステアリング装置	旋回性能　パワーステアリング
	6	ホイール及びタイヤ　ホイールアライメント	ホイール　タイヤ　タイヤの異常摩耗　偏摩耗　アライメントの構造、機能
	7	ブレーキ装置	ブレーキの性能　方式　補助ブレーキ
	8	ブレーキ装置（二輪自動車）	二輪自動車のブレーキ
	9	フレーム及びボデー	トラック、バスのフレーム
	10	フレーム及びボデー（二輪自動車）	二輪自動車のフレーム
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点

出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	電装	指導担当者名	松崎翔太、渡邉祥市
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事	実務経験：	有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義：○　演習：　実習：　実技：		
時間数	54時間 （1年：前期36時間　2年：前期18時間）	週時間数	1.8時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	二級自動車整備士（総合）		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画　前期	1	バッテリ	バッテリの概要　機能
	2	電気装置	多重通信の構造、機能
	3	電子制御装置	外部診断機の機能　使用方法　OBD規制の概要
	4	始動装置	スタータの構造、機能、特性
	5	充電装置	オルタネータの構造、機能
	6	点火装置	イグニッションコイルとスパークプラグの構造、機能
	7	予熱装置	インテークエアヒータ　グロープラグの構造、機能
	8	計器　警報装置	計器の構造、機能　警報装置の構造、機能
	9	冷暖房装置	冷暖房装置の構造、機能
	10	安全装置	安全装置の構造、機能
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	故障原因探求	指導担当者名	松崎翔太、渡邉祥市
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事	実務経験：	有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義：○	演習：	実習：	実技：
時間数	36時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	二級自動車整備士（総合）		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画 前期	1	ガソリンエンジン故障原因探求	概要、効率的な診断、診断の基本（問診、現象確認、原因の推定、再発の防止）
	2	ガソリンエンジン故障原因探求	故障診断の進め方
	3	ガソリンエンジン故障原因探求	不具合現象とその原因探求（エンジン始動不能）
	4	ガソリンエンジン故障原因探求	不具合現象とその原因探求（エンジン不調）
	5	ガソリンエンジン故障原因探求	不具合現象とその原因探求（エンジン不調）
	6	ジーゼルエンジン故障原因探求	不具合現象とその原因探求（エンジン始動不能）
	7	ジーゼルエンジン故障原因探求	不具合現象とその原因探求（エンジン不調）
	8	ジーゼルエンジン故障原因探求	不具合現象とその原因探求（エンジン不調）
	9	ハイブリッド自動車及び電気自動車故障原因探求	不具合現象とその原因探求（始動不能）
	10	ハイブリッド自動車及び電気自動車故障原因探求	不具合現象とその原因探求（不調）
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点

出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	電子制御装置	指導担当者名	松崎翔太、渡邉祥市
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事	実務経験：	有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義：○　演習：　実習：　実技：		
時間数	54時間	週時間数	10.8時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	二級自動車整備士（総合）		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画 後期	1	電子制御装置	センサ、アクチュエータ、ECUの構造、機能
	2	電子制御装置	OBD規制の概要
	3	先進安全技術	カメラ（単眼又は複眼）の構造、機能
	4	先進安全技術	ミリ波レーダの構造、機能
	5	先進安全技術	赤外線レーザの構造、機能
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点

出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	自動車整備法規	指導担当者名	松崎翔太、渡邉祥市
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事	実務経験：	有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義：○　演習：　実習：　実技：		
時間数	54時間(1年：後期27時間　2年：後期27時間)	週時間数	5.4時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	法令教本		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画　後期	1	道路運送車両法	自動車の種類
	2	道路運送車両法	登録制度　検査制度
	3	道路運送車両法	点検整備制度　認証制度
	4	道路運送車両法	保安基準　指定制度
	5	道路運送車両法	その他
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	検査学	指導担当者名	松崎翔太、渡邉祥市
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事	実務経験：	有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義：○　演習：　実習：　実技：		
時間数	27時間	週時間数	5.4時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	法令教本		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画　後期	1	保安基準適合性確保の点検	点検の目的
	2	保安基準適合性確保の点検	点検作業の流れ
	3	保安基準適合性確保の点検	各部の点検（エンジン）
	4	保安基準適合性確保の点検	各部の点検（シャシ）
	5	保安基準適合性確保の点検	検査機器
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	エンジン又はモータ　点検、分解、組立、調整、検査	指導担当者名	松崎翔太、渡邉祥市
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事	実務経験：	有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義：　演習：　実習：○		実技：
時間数	306時間 （1年：前期102.6時間、後期104.4時間　2年：前期99時間）	週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	エンジン単体　実習車両		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画　前期	1	エンジン	エンジン本体の脱着、タイミングベルト、チェーンの脱着
	2	過給機	ターボチャージャ　スーパーチャージャの脱着、分解、組立
	3	駆動用モータ	駆動用モータの分解、組立
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	シャシ　点検、分解、組立、調整、検査	指導担当者名	松崎翔太、渡邉祥市
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事	実務経験：	有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義：　演習：　実習：○		実技：
時間数	306時間 （1年：前期102.6時間、後期95.4時間　2年：前期108時間）	週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	実習車両（四輪、二輪）		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画　前期	1	動力伝達装置	ATの分解、組立
	2	ブレーキ装置	ブレーキ単体の分解、組立
	3	乗用車のボデー	ボデーの構造
	4	二輪自動車	二輪自動車の駆動装置　ブレーキ　フレームの脱着
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	電装　点検、分解、組立、調整、検査	指導担当者名	松崎翔太、渡邉祥市
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事	実務経験：	有
開講時期	通期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義：　演習：　実習：○		実技：
時間数	324時間 （1年：前期102.6時間、後期95.4時間　2年：前期108時間、後期18時間）	週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	実習車両		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画　前期	1	始動装置	スターターモータの脱着、点検、整備
	2	充電装置	オルタネータの脱着、点検、整備
	3	点火装置	イグニッションコイルの脱着、点検、整備
	4	シャシ電装	基本的な回路図の読み方、現車を使っての確認
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	電装　点検、分解、組立、調整、検査	指導担当者名	松崎翔太、渡邉祥市
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事	実務経験：	有
開講時期	通期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義：　演習：　実習：○		実技：
時間数	441時間 （1年：前期102.6時間、後期95.4時間　2年：前期108時間、後期18時間）	週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	実習車両		
授業外学習の方法	レポートの内容を復習する		

学期		項 目	内容、準備資料等
授業計画　後期	1	予熱装置	インテークエアヒータ　グロープラグの脱着、点検、整備
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	故障原因探求（実習）	指導担当者名	松崎翔太、渡邉祥市
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事	実務経験：	有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義： 演習：	実習：○	実技：
時間数	108時間	週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	実習車両		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画 後期	1	外部診断機	スキャンツールを使用した故障原因探求
	2	エンジン故障原因探求	エンジン故障時の基本点検、始動不能、不調の故障診断
	3	シャシ故障原因探求	変速ショックが大きい車の故障診断
	4	先進安全技術の故障原因探求	故障診断の手順、方法
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点

出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	電子制御装置（実習）	指導担当者名	松崎翔太、渡邉祥市
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事	実務経験：	有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義： 演習：	実習：○	実技：
時間数	108時間	週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	実習車両		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画 後期	1	ハイブリッド自動車及び電気自動車	コンバータ インバータの点検、整備
	2	ハイブリッド自動車及び電気自動車	駆動用バッテリ 駆動用モータ ジェネレータの点検整備
	3	先進安全技術	電子制御装置整備の作業方法
	4	先進安全技術	電子制御装置整備の点検、整備、調整
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点

出席率が95%に満たない場合は 期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	検査作業	指導担当者名	松崎翔太、渡邉祥市
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事	実務経験：	有
開講時期	通年	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義： 演習：	実習：○	実技：
時間数	54時間（2年：前期34.2時間、後期19.8時間）	週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	実習車両		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画 前期	1	検査用機器	ブレーキテスタ、ヘッドライトテスタ、サイドスリップテスタの用途　構造　機能の確認
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点

出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	検査作業	指導担当者名	松崎翔太、渡邉祥市
実務経験	自動車ディーラーにて整備業務に5年従事、自動車ディーラーにて整備業務に6年従事	実務経験：	有
開講時期	通年	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義： 演習：	実習：○	実技：
時間数	54時間（2年：前期34.2時間、後期19.8時間）	週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	実習車両		
授業外学習の方法	レポートの内容を復習する		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画 後期	1	継続検査作業	受け入れ検査、中間検査、完成検査、まとめ
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点

出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	総合学習	指導担当者名	松崎翔太、渡邉祥市
実務経験		実務経験：	
開講時期	通期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義： 演習：○	実習：	実技：
時間数	180時間（1年：前期48.6時間、後期41.4時間 2年：前期32.4時間、後期21.6時間　3年：前期12.6時間、後期23.4時間）	週時間数	5.4時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	3級自動車整備士過去問、3級自動車ガソリンエンジン、3級自動車ジーゼルエンジン、3級自動車シャシ		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期	ターム	項 目	内容、準備資料等
授業計画 前期	1	自動車のセキュリティ	セキュリティの歴史
	2	自動車のセキュリティ	セキュリティの種類
	3	自動車のセキュリティ	セキュリティの重要性
	4	3級問題の復習	3級自動車整備士の過去問題復習
	5	3級問題の復習	3級自動車整備士の過去問題復習
	6	3級問題の復習	3級自動車整備士の過去問題復習
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点

出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	総合学習	指導担当者名	松崎翔太、渡邉祥市
実務経験		実務経験：	
開講時期	通期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義：	演習：○	実習：　実技：
時間数	180時間（1年：前期48.6時間、後期41.4時間 2年：前期32.4時間、後期21.6時間　3年：前期12.6時間、後期23.4時間）	週時間数	5.4時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	2級自動車整備士過去問題プリント		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		

学期		項 目	内容、準備資料等
授業計画　後期	1	国家2級整備士対策問題	2級エンジン分野過去問題
	2	国家2級整備士対策問題	2級シャシ分野別過去問題
	3	国家2級整備士対策問題	2級の基礎工学、法令分野別問題
	4	国家2級整備士対策問題	2級整備士過去問題（模擬試験）
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	材料・力学・構造・性能	指導担当者名	松本　典浩
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に16年間従事	実務経験：	有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義：○　演習：　実習：	実技：	
時間数	54時間	週時間数	18時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	車体整備		
授業外学習の方法	該当範囲を事前に予習		

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　前期	1	車枠及び車体の構造　材料・力学	金属材料の一般的性質　鋼材の熱影響　鉄鋼材料　アルミニウム　はりの支点と反力　荷重分布計算の必要性　荷重分布の計算例
	2	車枠及び車体の構造　構造・性能	衝突安全ボデー　歩行者障害軽減構造　エンジンの配置による分類　フレーム形状による分類
	3	電子制御装置	ECU制御、故障診断、外部診断機、安全装置
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点

出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	整備・板金・塗装・損傷診断	指導担当者名	松本　典浩
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に16年間従事	実務経験：	有
開講時期	通年	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義：○　演習：　実習：　実技：		
時間数	189時間（前期142.2時間、後期46.8時間）	週時間数	23.4時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	車体整備		
授業外学習の方法	該当範囲を事前に予習		

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　前期	1	乗用車の整備作業	計測、フレーム修正機による整備
	2	トラック・バスの整備作業	フレーム狂いの種類、修正と亀裂の修理
	3	板金作業	板金作業の方法、工程
	4	板金作業	板金パテの方法、工程
	5	溶接作業	スポット溶接、ガス溶接、電気アーク溶接
	6	塗装作業	下塗り、中塗り、上塗り塗料、新車及び補修塗装
	7	塗装設備、機器	塗装工場のブース、乾燥機、エア及びエアスプレガン
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	整備・板金・塗装・損傷診断	指導担当者名	松本　典浩
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事	実務経験：	有
開講時期	通年	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義：○　演習：　実習：　実技：		
時間数	189時間（前期142.2時間、後期46.8時間）	週時間数	23.4時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	車体整備		
授業外学習の方法	該当範囲を事前に予習		

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　後期	1	損傷診断の基礎	衝突状態の分類、損傷特性、衝突時の運動エネルギ
	2	車体の損傷診断	損傷診断の基礎要件、基礎知識、車体の衝撃吸収特性
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	点検・分解・組立・調整・検査・板金・塗装・損傷診断	指導担当者名	松本　典浩
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に16年間従事	実務経験：	有
開講時期	通年	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義：	演習：	実習：○　　実技：
時間数	711時間（前期288時間、後期423時間）	週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	トラムトラッキングゲージ　センタリングゲージ　ポートパワー　ボディクランプ　ミグ溶接機　スポット溶接機　スタッド溶接機 板金ハンマー　ドリー　実習車両・塗装ガン		
授業外学習の方法	レポート内容の復習		

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　前期	1	計測	計測の基礎要件、車体寸法図
	2	フレーム狂いの測定	フレームセンタリングゲージで曲がり・ねじれの測定
	3	フレーム狂いの測定	トラムトラッキングゲージで曲がり・つぶれの測定
	4	車体の損傷診断	車体の衝撃吸収特性と損傷診断
	5	トラックの損傷診断	キャブ、フレームの損傷診断
	6	フレーム修正	台式フレーム修正機によるフレーム修正
	7	ボデー修正	可搬式油圧ラムユニットによるボデー修正
	8	溶接作業	電気スポット溶接、ガスシールド溶接
	9	溶接作業	ガス溶接、電気アーク溶接
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	点検・分解・組立・調整・検査・板金・塗装・損傷診断	指導担当者名	松本　典浩
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事	実務経験：	有
開講時期	通年	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義：	演習：	実習：○　　実技：
時間数	711時間（前期288時間、後期423時間）	週時間数	34.2時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	トラムトラッキングゲージ　センタリングゲージ　ポートパワー　ボディクランプ　ミグ溶接機　スポット溶接機　スタッド溶接機 板金ハンマー　ドリー　実習車両・塗装ガン		
授業外学習の方法	該当範囲を事前に予習		

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　後期	1	板金作業	ハンマリング　粗だし作業、打ち出し作業
	2	板金作業	引き出し作業、絞り作業
	3	板金作業	板金パテ
	4	塗装作業	下塗り塗料　プライマ・パテ
	5	塗装作業	中塗り塗料、上塗り塗料
	6	電子制御装置整備	故障診断、外部診断機
	7	電子制御装置整備	安全装備
	8	組立、調整作業	部品の組み立て準備、工程
	9	組立、調整作業	部品の取り付け寸法、ちり合わせ作業
	10	検査作業	作業後の計測要件、車体寸法図
	11	検査作業	ボデーアライメント
	12	検査作業	計器、走行装置の検査
	13	電子制御装置の検査	安全装置等の検査
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点

出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	総合学習	指導担当者名	松本　典浩
実務経験		実務経験：	
開講時期	通年	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義：	演習：○	実習：　　実技：
時間数	180時間（1年：前期48.6時間、後期41.4時間 2年：前期32.4時間、後期21.6時間　3年：前期12.6時間、後期23.4時間）	週時間数	1.8時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	ビジネスマナーテキスト		
授業外学習の方法	該当範囲を事前に予習		

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　前期	1	就職実務	心構え・求められる資質・職場での基本マナー
	2	就職実務	姿勢・歩き方・表情・発声練習・敬語の基本・話し方・聞き方
	3	就職実務	面接について考える
	4	就職実務	自己分析をし自己PR・志望動機の作成
	5	就職実務	履歴書の書き方と作成
	6	就職実務	面接練習
	7	就職実務	面接練習
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない

授業計画（シラバス）

科目名	総合学習	指導担当者名	松本　典浩
実務経験		実務経験：	
開講時期	通年	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義：	演習：○	実習：　実技：
時間数	180時間（1年：前期48.6時間、後期41.4時間 2年：前期32.4時間、後期21.6時間　3年：前期12.6時間、後期23.4時間）	週時間数	1.8時間
学習到達目標	・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す		
評価方法 評価基準	・出席率 ・授業態度 ・提出課題（各項目の確認をする為の課題提出） ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	車体整備・補助プリント		
授業外学習の方法	前回の内容の復習		

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　後期	1	国家試験対策	車体整備士国家試験の対策問題実施
	2	国家試験対策	車体整備士国家試験の対策問題実施
	3	国家試験対策	車体整備士国家試験の対策問題実施
	4	国家試験対策	車体整備士国家試験の対策問題実施
	5	国家試験対策	車体整備士国家試験の対策問題実施
	6	国家試験対策	車体整備士国家試験の対策問題実施
	7	国家試験対策	車体整備士国家試験の対策問題実施
	8	国家試験対策	車体整備士国家試験の対策問題実施
	9	国家試験対策	車体整備士国家試験の対策問題実施
	10	国家試験対策	車体整備士国家試験の対策問題実施
	11	国家試験対策	車体整備士国家試験の対策問題実施
	12	国家試験対策	車体整備士国家試験の対策問題実施
	13	国家試験対策	車体整備士国家試験の対策問題実施
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		

履修上の留意点
出席率が95%に満たない場合は　期末試験の受験資格を与えない